

平成29年度事業報告

概 要

平成29年度事業は、昨年度に引き続き川崎市、横浜市、相模原市、神奈川県リハビリセンターの4か所において脊髄損傷者等及びそのご家族を対象にピアサポート相談会を実施いたしました。

平成20年度の事業計画で「神奈川県リハビリセンターにおけるピアサポートモデル事業として、グループ相談会やロールモデルの派遣、個別訪問のピアサポート活動などを、神奈川県支部のピアマネージャーや支部役員によって毎月一回定期的実施して行く」として、神奈川県リハビリセンター側と何度も話し合いを持ちましたが、結局実現には至らなかった経緯があり、まずは県内4か所から広く相談を受け付けることになり、全脊連神奈川県支部の役割の一つであるピアサポート事業が、広く県内の一般の脊髄損傷者を対象に本格的に始まった6年目の取り組みとなりました。

もう一つの大きな支部の事業として、共同募金からの助成金事業として、医療セミナー等の様々なセミナーを開催しておりますが、29年度は、「空飛ぶ車いすから見た世界のバリアフリー事情」と題して、世界の150か国以上を旅行されている、空飛ぶ車いす・バリアフリー研究所の、木島英登氏にお願いいただきお話を伺いました。

車いすだから、旅行に行くことを躊躇してしまう、ましてや海外旅行に出かける勇気はないと思う人も多いのではないのでしょうか。

木島さんは、一人で現地にでかけていき、海外旅行を楽しんでいます。車いすというハンディを感じさせない、大変アグレッシブで貴重な講演でした。

また、その他支部が主催する催事や各協会が実施する催事は、会員やそのご家族にも気軽に参加できるようにご案内して順調におこなわれました。

1、～あなたの力になれます～

脊髄損傷者のための相談会の実施

～あなたの力になれます～『脊髄損傷者のための相談会』の開催は、永年に亘り脊髄損傷という重い障害と様々な困難を乗り越えてきた貴重な知識と豊富な経験を持つ当事者が、同じ脊髄損傷者等の精神的な支援と社会生活に必要なあらゆる情報を提供する相談会を実施し、脊髄損傷者が再び誇りある社会の一員として活躍できるよう支援して行くことを目的に事業を実施しました。

主 催 全国脊髄損傷者連合会神奈川県支部

協 賛 一般社団法人 日本損害保険協会

公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会

(1) 相談会開催期日及び会場

- 第1回 神奈川県リハビリテーション病院 4階会議室
平成29年 8月26日(土) 13時~15時
- 第2回 神奈川県民センター603会議室
平成29年 9月23日(土) 13時~15時
- 第3回 相模原市けやき体育館機能訓練室
平成29年10月14日(土) 13時~15時
- 第4回 川崎市 すくらむ21
平成29年11月 5日(日) 13時30分~16時30分

(2) 個別相談者 合計2名

- 第1回 1名 Aさん(女) 74歳 頸椎3番圧迫
- 第2回 相談者なし
- 第3回 相談者なし
- 第4回 1名 Bさん(男) 67歳 頸髄不全

(3) 支部出席者 延べ25名、内ボランティア9名

- 第1回6名 澤藤、宝子山、相馬、田辺、安藤、赤城、ボラ4名
- 第2回2名 赤城、小暮
- 第3回5名 澤藤、赤城、宝子山、相馬、小暮、ボラ2名
- 第4回3名 澤藤、田辺、北島、ボラ3名

(4) 個別相談会の内容

個別相談会を神奈川県リハセンター(厚木市)、横浜市、相模原市、川崎市、の4か所で実施し、女性1名、男性1名、合計2組の相談を受けた。又、相談を受ける支部役員は、延べ25名、内ボランティア9名であった。

相談の内容はAさん(女性)は、2年前温泉場で転倒し頸椎3番を圧迫した。そのため、しびれと痛みが取れないが歩くことはちゃんと出来ている。

痛み、しびれが取れないので、手術をしてもらおうかと思っているが、娘さんは反対している。

どんな手術でも、リスクはあるので、現在、歩けているので手術まで必要があるのか慎重に考えられたほうが良いと返事をした。

Bさんは、バイク事故で頸髄不全、入院中で回復リハビリテーションを行っている。自宅へのアプローチに25段の階段があり、在宅に移行する際にどのような対応が必要であり、また、どのような福祉サービスを利用できるのかについての相談。

現在入院中で回復リハを行っているということで、症状の固定がまだされていないため、今後の経過次第で対応が異なり、特にC4の不全麻痺で立位訓練を行ったり、上肢も指先に麻痺があるものの動くため、回復の時期に応じて病院にいるケースワーカーから、手続きやリフォーム等々についての指示があると伝えました。

(5) 実施に当たっての所感

ピアサポート事業は、今回で6年目の実施となったが、今後、支部の定例活動として継続していくには、更に相談者を増やすことが必要と考えている。それには相談会の開催回数を増やすことと、開催のための広報活動をもっと活発に広範囲に行っていくことが必要である。支部活動にはこのような課題があるが、脊髄損傷者とその家族を対象とする相談会を神奈川県内に定着させ、普及を促進することが私たち支部の為であり、県内の脊髄損傷者やそのご家族の為でもあると考えている。

2、共同募金助成のセミナーの開催

「空飛ぶ車いすから見た世界のバリアフリー事情」

講師 バリアフリー研究所 木島 英登氏

20年位前に比べると、日本の福祉は格段によくなり日常生活はかなり生活しやすい環境が整ってきている。しかし、車いすで旅行しようと思うと宿泊施設などまだまだ十分ではなく、それ故車いすで旅行するのをためらう人も多い。そんな中、車いすの障害者で150カ国以上も旅行している人がいる。しかも、ほとんどを一人旅だという。その「空飛ぶ車いす」の代表を講師に招き、一体、車いすでどうやって、旅行しているのか、実際その目で見てきたこと、体験したことなどを話してもらいました。そして旅行するのをためらっている人たちに勇気を与えてもらいたいと思いました。

木島さんは初めての海外旅行で、アメリカ・カリフォルニアへホームステイをした時、日本では、設備がない、前例がないと、行動する機会すらなかったけれど、アメリカでは、したいかしたくないかという意味を大切にするという。「したいこと」ならその方法を考えればいい。誰もが、「したいこと」に挑戦すればいいのだと。このことが木島さんの人生を大きく変えたようです。多くの脊髄損傷者にとって、とても励みになる貴重な講演でした。

3、平成29年度支部総会の開催

開催日 平成29年 6月18日(日)

場 所 フォーラム246 会議室

懇親会

支部定例総会 出 席 者 15名

委任状提出者 42名

合 計 57名

「資格審査」

平成29年度4月1日現在の支部会員数は101名であり、会則第10条2項による総会成立の定足数は52名以上となり、今総会は成立しました。

(総会議事)

議長の選任を諮り、西湘協会の安藤朱美さんを選任し、議事の審議へと進めました。赤城支部長、町田財政部長より平成29年度事業と平成28年度決算報告及び路川みどり会計監査の監査報告が行われました。

第1号議案 平成28年度事業報告

- (1) 「あなたの力になれます」 脊髄損傷者の相談会実施の報告
- (2) 共同募金助成セミナーの報告
- (3) 平成28年度支部総会の開催報告
- (4) 定例役員会の開催 第235回から第240回までの6回
- (5) 支部会報「やわらぎ」の発行 第98号99号100号の3回発行
- (6) 共同募金活動への参加 横浜駅西口、相模原市役所前の2か所
- (7) 第15回定時総会岡山県大会出席
赤城支部長、山崎昇副支部長、澤藤副支部長が出席しました。
- (8) 関東・甲信ブロック会議栃木県大会
赤城支部長と付き添いの2名が参加。
- (9) ピアマネ現任研修会
東京都支部開催
妻屋事務局長と付き添い、赤城支部長と付き添いの4名が出席
- (10) 障害者用自動車の無料点検
- (11) 協会活動報告 川崎、横浜、県央の各協会報告
- (12) その他の活動報告 県内の各関係機関への参加活動報告

第2号議案 平成28年度決算報告及び監査報告

- (1) 貸借対照表
- (2) 収支決算書
- (3) 平成28年度監査報告書
- (4) 付属 地区協会決算報告書

以上、平成28年度事業報告、平成28年度決算報告及び監査報告を一括審議の結果全会一致で承認されました。

また、第3号議案の平成29年度活動方針及び、川崎、横浜、厚木、相模原市の4か所の公共施設においてピアサポート相談会の開催などの事業計画および第4号議案の平成29年度予算案は支部提案通り全会一致で承認されました。

・ 懇親会の開催

支部の懇親会は、会員をはじめそのご家族や友人も参加して相互の親睦を深めることを目的に支部総会時に毎年開催しております。

今回も合わせて23名が参加してカラオケや、料理を楽しみながら歓談しました。

4、 定例役員会の開催

神奈川県支部を運営して39年目を迎えた平成29年度も定例役員会は順調に2か月に1回の割合で計6回開催しました。

役員会には、支部役員が毎回出席して支部活動に関する報告や企画、催事の開催と調整などについて協議を行うなど、支部の運営はすべてこの役員会の合議を経て維持されています。

役員会	開催日	開催会場
第241回	平成29年 4月23日	相模原市「けやき体育館」
第242回	平成29年 6月18日	伊勢原市「フォーラム246」
第243回	平成29年 8月26日	神奈川リハビリセンター
第244回	平成29年10月14日	相模原市「けやき体育館」
第245回	平成29年12月10日	伊勢原市「フォーラム246」
第246回	平成30年 2月18日	相模原市「けやき体育館」

5、 支部会報「やわらぎ」の発行

平成29年度「やわらぎ」の発行は、第101号、102号、103号の3回発行になりました。

第101号は総会議案書

第102号は第16回定時総会沖縄大会、支部総会、妻屋氏を偲んで、いちご狩り、吹き矢&懇親会に参加して

第103号は年頭所感、横浜港ランチクルーズ・マリノージュに乗って、川崎協会研修会「脊髄損傷者を取り巻く就労状況について」、「空飛ぶ車いすから見たバリアフリー事情」、忘年会に参加して、共同募金感謝状授与

*やわらぎ第101号（総会議案書）・・・平成29年5月29日発行

*やわらぎ第102号・・・・・・・・・・平成29年9月12日発行

*やわらぎ第103号・・・・・・・・・・平成30年2月11日発行

6、共同募金活動に参加

赤い羽根の共同募金は、民間社会福祉事業やボランティア・市民活動をはじめとする地域での支え合い活動を支援する資金となるとともに、募金活動を通して市民に助け合いの心を普及する大きな意義を持っていると言われています。支部では、毎年この活動に参加しています。

昨年度は、10月1日に横浜駅西口で赤城支部長、小暮事務局長の2名とカメラマンとしてペリの小島さんが参加。

相模原では10月3日に相模原市役所前で赤城支部長が参加しました。

7、第16回定時総会沖縄県大会出席

全脊連の第16回定時総会は、6月9日から11日までの日程で沖縄県の牧志駅前ほしぞら公民館ホールにおいて開催され、全国から社員が出席しました。

支部から、赤城支部長、山崎昇副支部長が出席しましたが、両名とも本部役員になっている。

総会は、28年度事業報告、決算報告、監査報告、29年度事業計画および予算案についてなどの審議が行われすべて可決されました。その後大会スローガンの採択と次期全国定時総会を石川県で開催することを決め、全国定時総会は終了しました。

8、第40回関東・甲信ブロック会議

茨城県大会出席

関東地区の東京都、神奈川県、千葉県、群馬県、栃木県、埼玉県、長野県、茨城県、山梨県の各支部が一同に会して、障害者福祉制度やバリアフリー環境の問題点等について意見交換と情報交換と親睦を兼ねて毎年持ち回りで開催しています。

茨城県大会は、9月3日（日）埼玉県障害者交流センター多目的ホールで開催され、赤城支部長、小暮事務局長が出席しました。

9、関東甲信ブロックピアサポーター スキルアップ研修会に出席

開催日 平成29年9月2日（土）
会場 埼玉県障害者交流センター 第3・4研修室
主催 全国脊髄損傷者連合会 関東甲信ブロック会
主管 全国脊髄損傷者連合会埼玉県支部
支部出席者 赤城支部長と小暮事務局長、付き添いの3名が参加

プログラムは講演のみで3本の講演がありました。

講演1 「生きていることの素晴らしさ、努力は人を裏切らない」
講師 刈谷 浩三 氏 狭山市障害者団体連絡会 代表

講演2 発展途上国で脊髄損傷者になりました
講師 村山 哲也 氏

講演3 高次脳機能障害への対応
講師 下重 敏子 氏（国立障害者リハビリテーションセンター病院MSW）

日本損害保険協会助成事業として全脊連が全国規模で毎年開催している関東ブロックのピアサポート現任研修会は、平成29年度から、名称を関東甲信ブロックピアサポータースキルアップ研修会に変更しました。スキルアップ研修会は、言うまでもなくピアサポート活動を行う上で必要な技術と資質の向上を目的としていますが、各支部での活動がもっと普及されることが大切であり、研修会の内容をさらに改善する必要があると思われます。

10、各協会報告

29年度は、川崎協会が催事を開催し、会員の皆様にご案内し参加者を募りました。

(1) 川崎協会セミナー

「脊髄損傷者を取り巻く就労状況について」

開催日 平成29年11月25日(土)

会場 川崎市国際交流センター

講師 神奈川県リハビリテーションセンター

職能科 科長 松元 健 氏

職能科 職業指導員 植西 佑香里 氏

参加人数 20名

懇親会 17名

障害者が働くためには、専門的なことを学ぶことよりも重要なことは、日々の健康管理、生活リズムを整えることが大切であるということを知りました。

また、神奈川県リハビリテーションセンターでは、通所できない場合、在宅での訓練に対する支援もしており、通えないのであれば、在宅で「テレワーク」という働き方もあるということを知りました。

1 1、その他の活動

1、赤城支部長が県社協の2種・3種会議に出席しました。

同じくかながわ福祉サービス運営適正化委員会に出席。

2、山崎昇体育部長は、神奈川県社会参加促進センターの委員として毎月の会議に出席。

3、相馬美枝さんが神奈川県障害者差別解消支援地域協議会、神奈川県障害者施策審議会に出席。